

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：おおぞらひまわり保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：岩渕 武司	定員（利用人数）： 70名（76名）
所在地：〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町118	
TEL：045-862-3331	
ホームページ：	

【施設・事業所の概要】

開設年月日	1970年8月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）	特定非営利活動法人 おおぞら		
職員数	常勤職員： 16名	非常勤職員：	14名
専門職員	保育士 17名	看護師	1名
	栄養士 1名	調理師	2名
	幼稚園教員免許 2名	子育て支援員	1名
	心理カウンセラー 1名		
施設・設備の概要	(居室数) 保育室5室、事務室1室、給食室1室、職員休憩室1室、予備室	(設備等)	・木造建築の温かさを備えた園舎です。 ・広い園庭を備えており、園庭の遊具も木造を中心にしています。

おおぞらひまわり保育園はJRまたは横浜市営地下鉄「戸塚」駅からバスに乗り「西横浜国際病院前」停留所で下車し、3分ほど歩いた住宅地にあります。園の周辺には、緑地や畑が広がっていて、季節折々の自然を楽しむことができます。園は、1970年（昭和45年）に元国立横浜病院事務部長官舎で職員組合の手によって創設し、国立病院内保育所の全国一括の株式会社への運営委託発表に伴い2004年（平成16年）に現在の地に移転し、認可園「おおぞらひまわり保育園」として開園しました。運営法人は、特定非営利法人おおぞらで、同じ戸塚区に小規模保育室を1園運営しています。園舎は木造2階建てで、日当たりがよく、広いテラスに囲まれています。1861平方メートルある広い園庭には、とりでやトンネル、滑り台などの遊具やグラウンド、季節の樹木が植えられた斜面などがあります。定員は70名（産休明け～就学前）で、開園時間は、平日（月曜日～金曜日）は7時～20時、土曜日は7時～19時です。

③理念・基本方針

保育理念

私たちは憲法と児童福祉法の理念のもと、子どもの人権と働く人々の最善の利益のために努力する

保育方針

- ・あたたかく自由な雰囲気の中で 子どもたちが「受け身」の学び手ではなく、何でも「なぜ？」と考え自分の思いを言い 友だちの思いも聞けるようなゆとりのある時と機会を保障していく
- ・力を合わせて みんなで行うことが好きになり更にやりたいことを進んで実行しようとする「能動的」な学び手へと育てていく
- ・子どもを愛する保護者 職員 地域 園をとりまく保育関係者のみなさんと固く手を結び学びあい 励ましあい その「能動的」な学び手の実現のために努力する

④施設・事業所の特徴的な取組

水・土・草木が香る自然環境の中で 一人ひとりのやすらぎと主体性を尊重し

- ・仲間と繋がる楽しい遊びや挑む行事
- ・安全でおいしい食事
- ・心身ともに優しい睡眠

などを保障し、子どもたちの生きる喜びや安心と憩いの持てる環境を創っていきます

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年5月15日(契約日)～2024年2月2日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	2回(2017年度)

⑥総評

◆特長や今後期待される点

【特長】

●恵まれた環境の中、子どもたちは主体的に遊び、のびのびと園生活を楽しんでいます

園は、子どもたちが主体的に好きな遊びを選び、友だちと一緒に様々な経験が積めるように環境を整えています。保育士は、子どもの成長や関心に合わせて保育室の環境を随時見直しています。朝夕の自由遊びの時間には、ブロックや机上遊び、廃材工作などのコーナーを設定し、子どもが自由に選択できるようにしています。他のクラスとの行き来も自由で、テラスで身体を動かすこともできます。子どもたちは、晴れていれば、毎日園庭で遊んだり、近隣の散歩に出かけ、豊かな自然に触れ、身体を動かしています。広い園庭では、とりでやジャングルジムなどの遊具で遊んだり、斜面を登り降りしてどんぐりや虫を探したり、グラウンドでサッカーを楽しんだり、のびのびと遊びこむことができます。保育士も入ってごっこ遊びをしたり、友だち同士でルールを決めて缶蹴りをしたりと、集団での遊びも多く取り入れています。園の周囲は自然豊かな空き地となっていて、季節ごとの自然と触れ合う中で、子どもたちの感性や自然への興味が育っています。地域との触れ合いも多くあり、散歩であいさつや会話を交わしたり、畑の作物や飼猫を見せてもらったり、ハロウィンで交流したりしています。フェンス越しに交流している隣の畑の人が、境界線に安全性に配慮して食用菊を植えてくれるなど、子どもたちは近隣住民に優しく見守られています。このような環境の中、子どもたちはのびのびと園生活を楽しんでいます。

●保育士は、一人ひとりの子どもの思いを大切に、連携して保育しています

保育理念に子どもの人権尊重を掲げ、子ども一人ひとりの思いを大切に、保育をしています。保育士は、職員会議等で一人ひとりの子どもの姿について話し合い、行動の背景にある子どもの思いを探って、個々に合わせた目標や対応を検討し、長い視点で子どもの育ちを支えています。保育士は、子どもが遊ぶ姿を近くで見守って、子どもの気持ちを受け止め、寄り添っています。「やりたくない」「やりたいけど踏み出せない」などの気持ちも受け止めて寄り添い、子どもが納得し、自分自身で踏み出せるような声掛けをしています。できたことは、小さなことでも褒めて認め、子どもが肯定感を感じ、次につなげられるように支援しています。子どもの甘えも受け止め、幼児であってもスキンシップをたくさん取り、子どもとの関係を築いています。全保育士で子どもへの姿勢を共有し、クラスを超えて子ども一人ひとりの姿について情報交換することで職員間で協力し合う関係ができていて、子どもの状況に合わせて一対一で対応できる体制を築いています。

【今後に期待される点】

●中長期的な視点にたって、園の進むべき方向性を明示していくことが期待されます

中長期的な計画を作成し、理念の実現に向けて、どのように取り組んでいくかのビジョンを明確に示すことは、運営の安定だけでなく、職員の安心や意欲にもつながります。園では、計画されている環状3号線の着工状況を最大の課題と捉え、中長期計画に掲げていますが、現在具体的な着工時期や工程などは決まっておらず、見通しがたたない状態となっています。環状三号線の工事だけでなく、園の運営に関わる園児や職員の確保、人材育成、施設整備、保育の質の向上など、他の課題についても、具体的な目標や取り組みを設定して中長期計画に記載し、職員と共有していくことが期待されます。

●地域の子育て家庭に向けて園の専門性を還元していくことが期待されます

園は、前身の院内保育の時代から50年の歴史があり、地域住民と良い関係が築かれています。ただし、現状では園児、保護者への支援を行うことで手一杯であるため、地域のニーズを把握し、地域の子育て家庭向けの支援をすることはしていません。人数を決めての園庭開放や芋ほりなどの行事に地域の親子に参加を呼び掛けるなど、無理ない形で園の専門性を地域に還元していくことが期待されます。また、地域に園の存在や特長を知ってもらうことは園児や職員確保にもつながりますので、園独自のホームページの作成など、積極的に情報発信していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に施設・事業所のコメント

子どもが子どもらしく、ありのままの自分を出していいと思える保育をしようと決意し、これまで保育を進めてきました。その当園の思いを理解し、評価頂けたことは本当にありがたく、評価員の方々に感謝申し上げます。評価頂けた部分には自信を持ち、今後も理念を大事にしながら保育を進めたいと思います。そして足りない所が見えた事を収穫とし、課題に対してしっかりと修正して参ります。職員一同これからも精一杯保育に取り組んでいきますのでよろしくお願ひ致します。保護者の皆様もアンケートのご協力頂き感謝申し上げます。頂いたご意見をしっかりと受け止め、見直して参ります。

事業の「管理遂行」については心配される地域環境の悪化の影響等を理由に受け身的、消極的姿勢でいたことが明らかにされました。子どもたちの為のより良き施設として継続発展させていくためには今一度「事業の目的、理念、分担」等々「中長期計画」の立案に取り組みこれまでに培ってきたことを整理し、時代の変化に伴う各々の職務、任務を明らかにしながら皆で魂のこもった計画を練り上げ「みんなの園づくり」を深めていかなければならないと痛感致しました。

今回の第三者評価でその決意を呼び起こして頂けたことに心より感謝申し上げます。

園長 岩淵武司
理事長 斎藤由紀子

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり